

# 第1回福知山公立大学将来計画策定有識者会議資料

令和2年 10月

福知山市

# 大学を活かしたまちづくりの方向性

## 現在の中期目標(平成28年度から令和3年度)

### 【基本理念】

- ・市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

### 【目指すべき大学像】

- ・地域社会を支え、地域社会に支えられる大学
- ・持続可能な社会の創出に貢献する知の拠点大学
- ・地域と世界をつなぐ、グローカリズム研究実践の拠点大学

### 【育成する人材像】

- ・地域に根ざし、世界を視野に活躍するグローカリスト

## 「知の拠点」整備構想(平成30年2月策定)

### 【教育・研究】

- ・情報学部の開設により入学定員200名体制を実現【実現済】
- ・まちかどキャンパスやKita-reなどの地域連携拠点の活用【実現済】
- ・情報を核とした大学院の設置や、京都工芸繊維大学との単位互換制度の検討【未実施】
- ・情報に関する教員免許取得の検討【未実施】

### 【人材育成】

- ・小中高大連携やリカレント教育の充実による地域で学び地域で働く人材循環モデルの構築【実施中・拡充予定】

### 【産業振興】

- ・福知山公立大学及び京都工芸繊維大学、北近畿地域の各種団体による産学官コンソーシアムの構築による北近畿地域の産業イノベーションの創出や専門人材の輩出【実施中・拡充予定】

### 【キャンパス整備】

- ・地域連携・文理連携を推進するためのキャンパス整備(1号館、3号館、4号館、福祉棟)【整備済】
- ・市有地を活用した学生住宅の整備【整備中】
- ・中長期対応のキャンパス整備案件の検討【実施中】

# 大学を活かしたまちづくりの方向性

次期中期目標へのコンセプト

地域社会と課題を共有し、解決策を協働して見出すことを福知山公立大学に期待

展開

社会・自然環境の  
急速な変化

地方都市における  
課題の顕在化

福知山公立大学の特色（実践教育、  
帰納的教育、情報技術等）を活かし  
地域と協働し解決策を見出す

安心安全で暮らしやすく  
元気で働きやすい  
将来に希望が持てるまちづくり

検討  
の  
視点

具体例

人口減少

高齢化

新型コロナウイルス  
感染症拡大

産業構造の変化

Society5.0社会

SDGsの推進

自然災害の増加、激  
甚化

若者の流出

産業界の人手不足

介護担い手不足

健康増進活動の展開  
（治療から予防へ）

人材不足等に起因する  
新技術の普及の遅れ

感染拡大防止

テレワーク等働き方改  
革

ハードソフト両面からの  
防災対策

地域課題を理解する若者の定着

遠隔授業やテレワーク等普及支援

地域の国際理解推進

ICT活用による省力化で人手不足の解消

ビッグデータ活用による予防や事業継承

ICT・ソフトウェア産業の創出・育成

デジタル社会に対応できる次世代教育

専門知識から生涯学習まで幅広い学び提供

市役所窓口のオンライン化、ワンストップ化等

オープンデータを活かした新サービスの提供

情報ツールを活用した地域ごとの避難情報

避難者支援、災害現場の情報収集など双方  
向伝達

「地域で学び地域で働く」  
人材循環モデル構築

コロナ共生社会の新たな学び方

STEAM人材、グローカリスト育成

産学官コンソーシアムの構築

地域の新産業の創出

大学を活用した多様なリカレント  
教育の充実

スマートシティ・行政DX推進

若者を活かしたまちづくり

子育てしやすい地域づくり

安心安全で健康な地域づくり

人材  
育成

産業  
振興

生涯  
学習

地域  
施策

本地域の課題は全国や世界の同様の地方部に通じる課題  
（さまざまな知見の集約・共有化）

福知山の課題解決を通じて国内、世界の課題を解決する人材  
～グローカリスト育成大学へ～

# 大学を活かしたまちづくりの方向性 「人材育成」

## 福知山公立大学での取組状況

- ・令和2年度の情報学部の開設により、文理2学部入学定員200名体制が実現。
- ・夏休みを利用して、小中学生を対象にしたプログラミング教育を実施。
- ・全国からの入学者の確保。
- ・学生一人ひとりと向き合う個別キャリア支援による就職内定率100%を達成。

## 福知山市での取組状況

- ・インターンシップの受入や、地域協働型実践教育研究におけるフィールドの提供。
- ・令和2年度から市に教育連携顧問を配置し、福知山公立大学と小中高等学校との連携を強化。

## 今後の取組事項

- 小中高大連携やリカレント教育の充実により「地域で学び地域で働く」人材循環モデルの構築にむけ、北近畿地域からの入学者と、北近畿地域への就職者の確保。
  - ・北近畿一円の各種団体(地域・企業・行政・教育機関等)と連携したインターンシップやフィールドワークをはじめ地域協働型実践教育研究の更なる充実
  - ・地域の課題解決に対してプロジェクトを事業化し、スタートアップできる人材の育成
  - ・情報に関する教員免許取得に係る教職課程の設置による地元定着の促進
  - ・小中高大の更なる連携強化を通じて、福知山市・北近畿ならではの教育の推進
- 学生の学びを確実に保証する「新たな学びのあり方」の構築。
  - ・国内・海外大学との連携強化による多様な学びの推進
  - ・情報技術を活用しての教育や大学運営のデジタル化の推進
- 自治体、地域の産業界等と連携し、文理の枠にとらわれないSTEAM人材の育成。
  - ・文理連携のさらなる充実
- 地域の課題解決を通じて、世界を視野に活躍するグローカリストの育成。
  - ・国内・海外留学の充実及び、地域の国際理解の推進
  - ・国際交流センターの機能強化

# 大学を活かしたまちづくりの方向性 「産業振興」

## 福知山公立大学での取組状況

- ・北近畿地域における協働・連携等の拠点として「北近畿地域連携機構」を創設し、研究部を立ち上げ産学官連携を推進。
- ・情報学部の開設により、Society5.0時代に先端情報技術を活用できる人材を育成中。

## 福知山市での取組状況

- ・京都府やハローワークと連携した企業説明会や面接会の開催。
- ・廃校の利活用など遊休資産の活用による官民連携の推進。

## 今後の取組事項

- 産学官コンソーシアムの構築による北近畿地域の産業イノベーションの創出や専門人材の輩出。
  - ・産業界、大学、自治体が一体となったコンソーシアムの構築
  - ・産業界のニーズを反映した人材育成や、共同研究による雇用の維持・増加
  - ・スタートアップ事業者を育成するためのプログラムの構築。
- 長田野企業をはじめとする「ものづくり産業」に加え、「新たな産業」(IT産業等)の創造。
  - ・高度情報人材の育成による企業の生産性向上、情報関連企業の誘致
  - ・地域の基幹産業のひとつである医療・福祉分野でのIT技術の導入
  - ・内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」等の活用も視野に市・大学・産業界が連携
  - ・高度IT人材の育成、学生起業家の促進・ベンチャー活動の支援

# 大学を活かしたまちづくりの方向性 「生涯学習」

## 福知山公立大学での取組状況

- 学生以外の社会人等を対象に、単位取得を目的とする「科目等履修生」と、単位取得を目的としない「聴講生」を募集。
- 京都府北部や兵庫県北部を対象として地域連携事業として公開講座の開催。
- 「まちかどキャンパス」や「Kita-re」など大学施設を市民学習の場として開放。

## 福知山市での取組状況

- 福知山公立大学が実施する公開講座等の各種地域連携事業に対する支援。

## 今後の取組事項

### ●「人生100年時代」において、誰でもいつでも学び直すことができる環境整備

- 生涯にわたりスキルを高め続けるリカレント教育の実施による地域の人材循環の実現
- 豊富な経験、高い技術力を有しているシニア世代が活躍できるためのシニアワークカレッジの創設
- 大学講義等のアーカイブ化やオンライン講義の充実
- 市民向けの各種学習講座の充実
- 聴講生等の増加と、社会人入学の増加

# 大学を活かしたまちづくりの方向性 「地域政策」

## 福知山公立大学での取組状況

- ・人材育成のための研修会等、市域・府県を越えた関係団体との連携事業を実施。
- ・大学と地域の事業者との共同研究プロジェクトによる新商品の開発が実現。
- ・旧市街地の空き店舗を改修して「まちかどキャンパス」を整備し、市民講座等を開催。

## 福知山市での取組状況

- ・RPAの導入など、業務のIT化の推進。
- ・遊休市有地を活用した民間事業者による学生住宅建設の推進。

## 今後の取組事項

- 福知山公立大学と連携し、先端情報技術を活用したスマートシティ・行政DXの推進。
  - ・市役所窓口業務のオンライン化をはじめ行政運営のデジタル化
  - ・プログラミング教育、スマート防災、スマート農業、医療・福祉など各分野におけるICT化の推進
  - ・オープンデータの活用による大学の研究推進や、民間事業者のビジネスチャンスの拡大
- 持続可能な地域のための若者を活かしたまちづくりの推進。
  - ・学部の強化、定員の最適化など不断の改革の推進
  - ・大学の充実を通じた更なる賑わいの創出
  - ・北近畿地域内への若者の定着促進による地域活性化



## 市と大学が目指すべき大学像

福知山公立大学は、

- ・基本理念を「**市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学**」
- ・育成する人材像を「**地域に根ざし、世界を視野に活躍するグローバルリスト**」と掲げている。

地域の視点とグローバルな視点を併せ持つ「知の拠点」を形成するためには、福知山公立大学の特色と強みを活かして、地域社会が大学に求める新たな要請に対して的確に対応することが必要とされる。

そのため、更なる教育の質の向上を図り、グローバルな視野で主体的に考え、行動できる人材を育成することで地域社会のイノベーションの創出を目指す。

また、Society5.0社会の実現に向け、大学の知的資源や研究成果を地域の様々な分野に応用し、新たな価値の創造や雇用につなげ、持続可能な福知山を確立し、ひいては北近畿地域全体への貢献を目指す。

以上を踏まえ、大学の将来像として次の3点を掲げる。

- ・地域協働型教育研究を通じた地域研究のナンバーワン大学への発展
- ・福知山及び北近畿地域の課題解決を通じてグローバルな課題解決につなげる人材の育成
- ・人口減少やポストコロナ・アフターコロナなどの、社会経済環境においても新たな地域経済の成長を促す多様なイノベーションの創出に資する研究の推進



# 資料集

---

# 福知山公立大学とは

【大学の基本理念】 市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

【設置者】 公立大学法人福知山公立大学(平成28年4月開学)

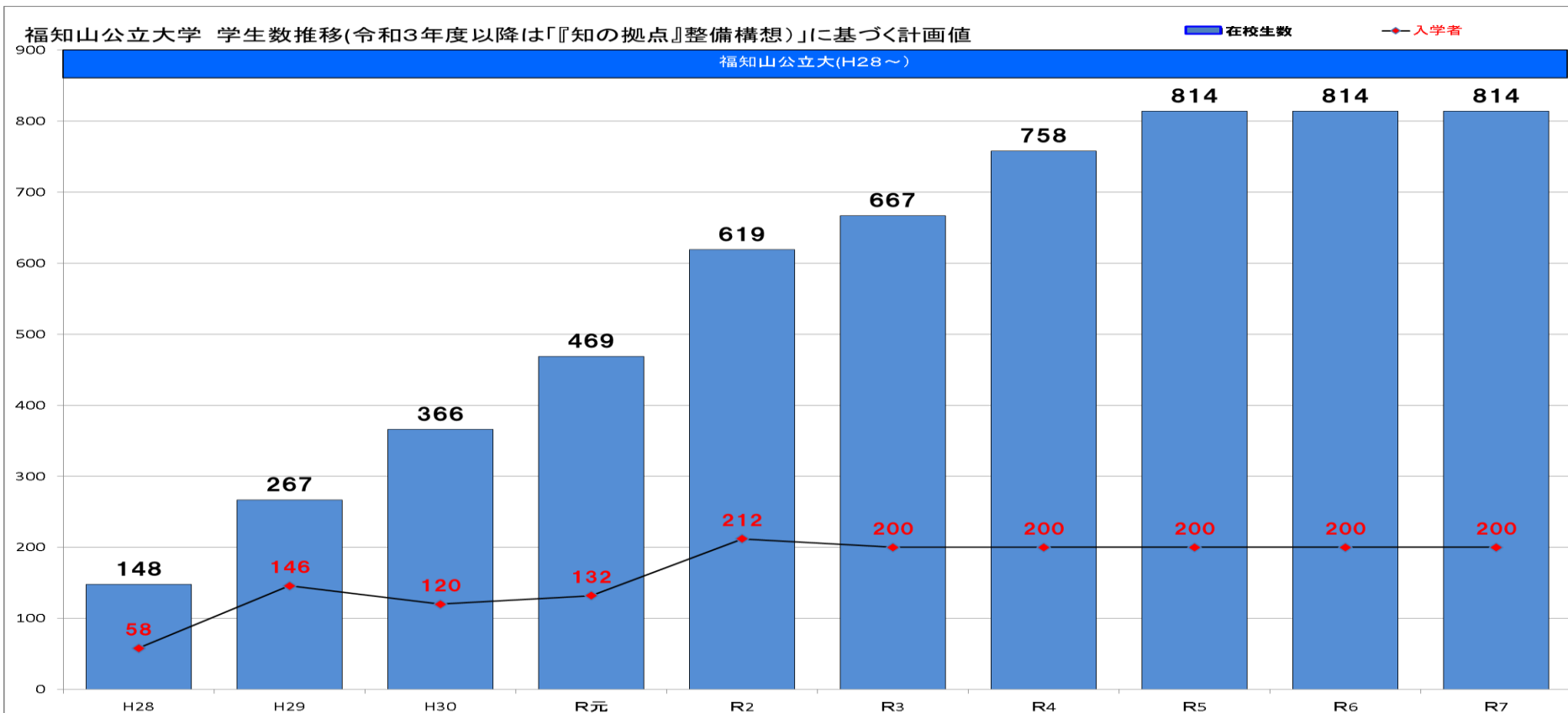
【在籍者数】 619名(男388名／女231名)

【学部】

地域経営学部(地域経営学科・医療福祉経営学科) 定員100名

情報学部(情報学科) 定員100名

【目指すべき人材像】 地域に根ざし、世界を視野に活躍する“グローカリスト(Glocalist)”

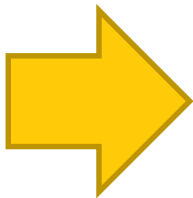


# 福知山公立大学 設置沿革

11

- 昭和50年度** 福知山市総合計画に4年制大学誘致構想を位置づけ  
**昭和56年度** 第3次京都府総合開発計画に大学誘致の方向づけ  
**昭和59年度** 福知山市大学誘致準備室を京都市内に設置  
**平成 6年度** 京都短期大学(学校法人成美学苑)と本市が共同で4年制大学創設準備委員会を設置  
**平成9～10年** 市民からの大学設置要望署名(約4.6万件)が提出  
学校法人成美学苑への4年制大学設置支援並びに市直営による予算支援(27億円)  
短大の「商経科」を改組し、「京都創成大学・経営情報学部(定員195名)」で大学設置認可申請  
**平成11年度** 文部省認可、大学校舎整備工事竣工  
**平成12年度** 「京都創成大学/経営情報学部(定員195名)」開学。入学者106名。以来一度も定員を満たすことなく推移  
**平成19年度** 「経営情報学部」に「医療福祉マネジメント学科」を増設。1学部2学科体制  
**平成22年度** 大学名を「成美大学」に変更  
**平成26年度**  
10月 「4年制大学のあり方に関する有識者会議」開催  
2月 「公立大学検討会議」開催  
3月 公立大学設置基本計画「教育のまち福知山『学びの拠点』基本構想」を策定  
(基本理念や平成32年度までの定員200名実現と学部体制見直しを掲げる)  
**平成27年度**  
4月 「公立大学設置準備委員会」を設置(公立大学の詳細を決定)  
9月 公立大学法人定款等の関連議案の福知山市議会承認、直ちに文科省、京都府に関連認可申請  
11月 公立大学法人設立認可(京都府)、大学設置者変更認可(文部科学省)  
**平成28年度**  
4月 公立大学法人福知山公立大学(井口和起理事長)開学(地域経営学部)。定員50名に58名入学(志願者1,669名)  
国立大学法人京都工芸繊維大学福知山キャンパス設置(開講は平成30年9月)  
**平成29年度**  
4月 入学定員50名から120名に増員。新入学者146名(志願者926名)  
9月 「『知の拠点』整備構想検討委員会」開催  
2月 情報学部の新設を柱とする公立大学の将来構想「『知の拠点』整備構想」策定  
**平成30年度**  
4月 3年目入試 120名に新入学者120名(志願者761名)  
京都大学、大阪大学、京都工芸繊維大学関係者が参画し「福知山公立大学新学部設置準備委員会」設置  
5月 市内に空き店舗をリノベーションしたサテライト施設「まちかどキャンパス 吹風舎(ふくちしゃ)」がオープン  
3月 2020年4月開設「情報学部/情報学科(定員100名)」の文部科学省への認可申請  
**平成31/令和元年度**  
4月 4年目入試 120名に新入学者132名(志願者665名)  
5月 情報学部校舎(1号館・3号館)改修工事着手(3月竣工予定)  
**令和2年度**  
4月 「情報学部/情報学科(定員100名)」開設。「地域経営学部/地域経営学科・医療福祉学科(定員100名)」とあわせ200名体制に。

# 北近畿地域の人口推計見込

| 2015年   |                   |  | 2045年   |                   | 増減                 |
|---------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------|--------------------|
| 人口      | 57.1万人<br>(7.9万人) |                                                                                   | 人口      | 37.7万人<br>(6.7万人) | ▲34.0%<br>(▲15.2%) |
| 生産年齢人口  | 31.1万人<br>(4.5万人) |                                                                                   | 生産年齢人口  | 17.4万人<br>(3.5万人) | ▲44.1%<br>(▲22.2%) |
| 15歳未満人口 | 7.2万人<br>(1.1万人)  |                                                                                   | 15歳未満人口 | 3.9万人<br>(0.8万人)  | ▲45.8%<br>(▲27.3%) |

働き手である生産年齢人口及び、将来の働き手である15歳未満人口の減少は、福知山市の産業の衰退を招く危険性がある。



人口減少が加速するなか、若者の地元定着や福知山市の産業を支える人材、産業イノベーションを創出できる人材の育成が必要。

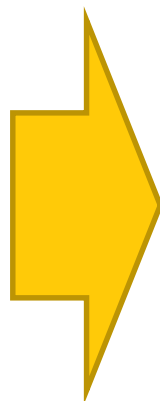
※北近畿の定義

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町、丹波市、丹波篠山市、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町

※引用：社会保障・人口問題研究所データ うち福知山市分は( )で記載

# 北近畿地域の自治体別人口推計見込

| 2015年 |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 市町    | 総人口     | 15歳未満人口 | 生産年齢人口  |
| 福知山市  | 78,935  | 10,918  | 45,045  |
| 舞鶴市   | 83,990  | 11,279  | 47,091  |
| 綾部市   | 33,821  | 3,910   | 17,398  |
| 宮津市   | 18,426  | 1,870   | 9,190   |
| 京丹後市  | 55,054  | 6,700   | 28,919  |
| 伊根町   | 2,110   | 162     | 971     |
| 与謝野町  | 21,834  | 2,688   | 11,627  |
| 豊岡市   | 82,250  | 10,646  | 45,490  |
| 篠山市   | 41,490  | 4,912   | 23,050  |
| 養父市   | 24,288  | 2,820   | 12,670  |
| 丹波市   | 64,660  | 8,352   | 35,383  |
| 朝来市   | 30,805  | 3,823   | 16,726  |
| 香美町   | 18,070  | 2,065   | 9,375   |
| 新温泉町  | 14,819  | 1,708   | 7,644   |
| 合計    | 570,552 | 71,853  | 310,579 |



| 2045 |             |        |                 |        |                |
|------|-------------|--------|-----------------|--------|----------------|
| 市町   | 総人口 ( ) は増減 |        | 15歳未満人口 ( ) は増減 |        | 生産年齢人口 ( ) は増減 |
| 福知山市 | 66,589      | -15.6% | 8,284           | -24.1% | 35,086 -22.1%  |
| 舞鶴市  | 53,627      | -36.2% | 6,339           | -43.8% | 25,976 -44.8%  |
| 綾部市  | 20,933      | -38.1% | 1,689           | -56.8% | 9,253 -46.8%   |
| 宮津市  | 9,436       | -48.8% | 592             | -68.3% | 3,778 -58.9%   |
| 京丹後市 | 32,255      | -41.4% | 2,875           | -57.1% | 13,394 -53.7%  |
| 伊根町  | 864         | -59.1% | 60              | -63.0% | 327 -66.3%     |
| 与謝野町 | 12,219      | -44.0% | 975             | -63.7% | 5,168 -55.6%   |
| 豊岡市  | 58,371      | -29.0% | 5,767           | -45.8% | 26,880 -40.9%  |
| 篠山市  | 28,229      | -32.0% | 2,748           | -44.1% | 12,297 -46.7%  |
| 養父市  | 13,285      | -45.3% | 1,130           | -59.9% | 5,499 -56.6%   |
| 丹波市  | 44,596      | -31.0% | 4,768           | -42.9% | 20,660 -41.6%  |
| 朝来市  | 19,657      | -36.2% | 2,029           | -46.9% | 8,625 -48.4%   |
| 香美町  | 9,077       | -49.8% | 700             | -66.1% | 3,570 -61.9%   |
| 新温泉町 | 8,327       | -43.8% | 697             | -59.2% | 3,436 -55.0%   |
| 合計   | 377,465     | -33.8% | 38,653          | -46.2% | 173,949 -44.0% |

# 福知山市の産業別就業者人口見込

| 2015年       |         | 2050年       |         | 増減     |
|-------------|---------|-------------|---------|--------|
| 就 業 者 人 口   | 42,986人 | 就 業 者 人 口   | 33,749人 | ▲21.5% |
| 建 設 業       | 3,620人  | 建 設 業       | 1,400人  | ▲61.3% |
| 製 造 業       | 8,040人  | 製 造 業       | 5,427人  | ▲32.5% |
| 情 報 通 信 業   | 331人    | 情 報 通 信 業   | 167人    | ▲49.5% |
| 卸 売 ・ 小 売 業 | 6,356人  | 卸 売 ・ 小 売 業 | 3,170人  | ▲50.1% |
| 医 療 ・ 福 祉   | 5,385人  | 医 療 ・ 福 祉   | 6,807人  | 26.4%  |

※未来カルテから引用

「未来カルテ」:千葉大学大学院社会科学研究院が、人口減少・高齢社会のインパクトを地域レベルで実感できるように、国勢調査や国立社会保障・人口問題研究所の人口予測などの各種統計データを用いてシミュレーションし公表しているもの。

# 北近畿の産業別就業者人口見込

| 2015年  |          | 2050年  |          | 増減     |
|--------|----------|--------|----------|--------|
| 就業者人口  | 280,193人 | 就業者人口  | 154,633人 | ▲44.8% |
| 建設業    | 22,273人  | 建設業    | 4,598人   | ▲79.4% |
| 製造業    | 55,077人  | 製造業    | 23,474人  | ▲57.4% |
| 情報通信業  | 1,152人   | 情報通信業  | 527人     | ▲54.3% |
| 卸売・小売業 | 38,586人  | 卸売・小売業 | 17,352人  | ▲55.0% |
| 医療・福祉  | 36,832人  | 医療・福祉  | 26,411人  | ▲28.3% |

就業者人口全体の減少率に比して、特定の業種については就業者人口の減少率が多くなっていることから、将来的に本市の産業構造が変化することが予測される。



産業構造の変化などの予測不可能な時代において、社会の変革に対応できる人材の育成がこれまで以上に必要。



# 長田野工業団地立地企業アンケート結果①

福知山公立大学の「将来計画」の策定の基礎資料とするために、令和2年10月に長田野工業団地の立地企業にアンケート調査を実施。

※長田野立地企業40社中19社から回答(回答率:47.5%)

## アンケート結果

|                                                   |                  |
|---------------------------------------------------|------------------|
| 過去3年間で「 <b>4年制大学卒</b> 」の新規正社員の <b>求人</b> はありましたか。 | あり:95%<br>なし:5%  |
| 過去3年間で「 <b>4年制大学卒</b> 」の新規正社員の <b>採用</b> はありましたか。 | あり:95%<br>なし:5%  |
| 過去3年間で「 <b>大学院卒</b> 」の新規正社員の <b>求人</b> はありましたか。   | あり:79%<br>なし:21% |
| 過去3年間で「 <b>大学院卒</b> 」の新規正社員の <b>採用</b> はありましたか。   | あり:63%<br>なし:37% |

求人・採用については、本社一括で実施している企業と、長田野工場で実施している企業があるが、いずれも大学卒の求人・採用率は極めて高い。

また、大学院卒の人材を求めている企業も多いが、実際には採用できていない企業が一定程度ある。

# 長田野工業団地立地企業アンケート結果②

## アンケート結果

|              |                                                                                                                                                          |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 採用している職種(文系) | 総合職(営業・物流・機能)、生産管理、営業、一般事務、経理、財務、人事、法務、経理財務、資材調達、企画、海外管理、情報システム、購買調達、製造 等                                                                                |
| 採用している職種(理系) | 総合職(営業・物流・機能)、品質保証・分析業務、設備管理、開発設計、研究開発、生産技術、開発研究、設計、製造管理、品質管理、生産管理、製造技術、設計、サービスエンジニア、システムエンジニア、知的財産、設備技術、機械・電気・ソフトエンジニア 等                                |
| 興味のある研究分野    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業経営、医療福祉</li> <li>・IoT、人工知能、データマーケティング、情報ネットワーク</li> </ul>                                                      |
| 希望する大学連携     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの受入</li> <li>・従業員向けの研修</li> <li>・フィールドワーク(実績あり)</li> <li>・データサイエンス、機械学習、シミュレーション</li> </ul>              |
| 大学に期待すること    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元高校から採用してきたが、今後は地元大学からの採用を検討している。採用に関しての情報交換の場を設けてほしい。</li> <li>・現在事業拡大を予定しており、地元就職を希望する大学生に受験してほしい。</li> </ul> |

**採用職種・興味のある研究は様々であるが、大学生の雇用に対して期待の声が多い。**

# 北近畿地域の入学・就職状況

## 入学者数の推移

|          | H28   | H29  | H30   | R1   | R2    |
|----------|-------|------|-------|------|-------|
| 入学者数     | 58人   | 146人 | 120人  | 132人 | 212人  |
| うち北近畿出身  | 16人   | 11人  | 12人   | 13人  | 24人   |
| 北近畿出身の割合 | 27.6% | 7.5% | 10.0% | 9.8% | 11.3% |

※市立・組合立・県市共同立の公立大学における入学者に占める域内者の割合の平均は16.4%  
（公立大学ファクトブック2019より）

## 就職者数の推移

|          | H28 | H29   | H30   | R1    | R2    |
|----------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 就職者数     | —   | 25人   | 24人   | 18人   | 58人   |
| うち北近畿就職  | —   | 7人    | 6人    | 6人    | 12人   |
| 北近畿就職の割合 | —   | 28.0% | 25.0% | 33.3% | 20.7% |

※北近畿の定義・・・福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町  
丹波市、丹波篠山市、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町

# 公立大学の役割について

○公立大学は、地方公共団体が設置・管理するという性格から、地域における高等教育機会の提供と、地域社会での知的・文化的拠点として中心的役割を担っており、それぞれの地域における社会・経済・文化への貢献が期待されている。（文部科学省HPから引用）

○予測不可能な時代の中で、公立大学をはじめとする地域の高等教育機関は、「知と人材の集積拠点」として、社会、経済、文化の活性化のリソースとなることが期待されており、そうした役割を果たすために、産業界や地方公共団体と恒常的な連携体制を構築することが必要とされている。

（H30.11 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」から引用）

○18歳人口の減少など、将来の社会変化を見据えて、社会人、留学生などを含めた「あらゆる世代が学ぶ知の基盤」としての公立大学をはじめとする地域の高等教育機関のあり方が求められている。

（H30.11 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」から引用）

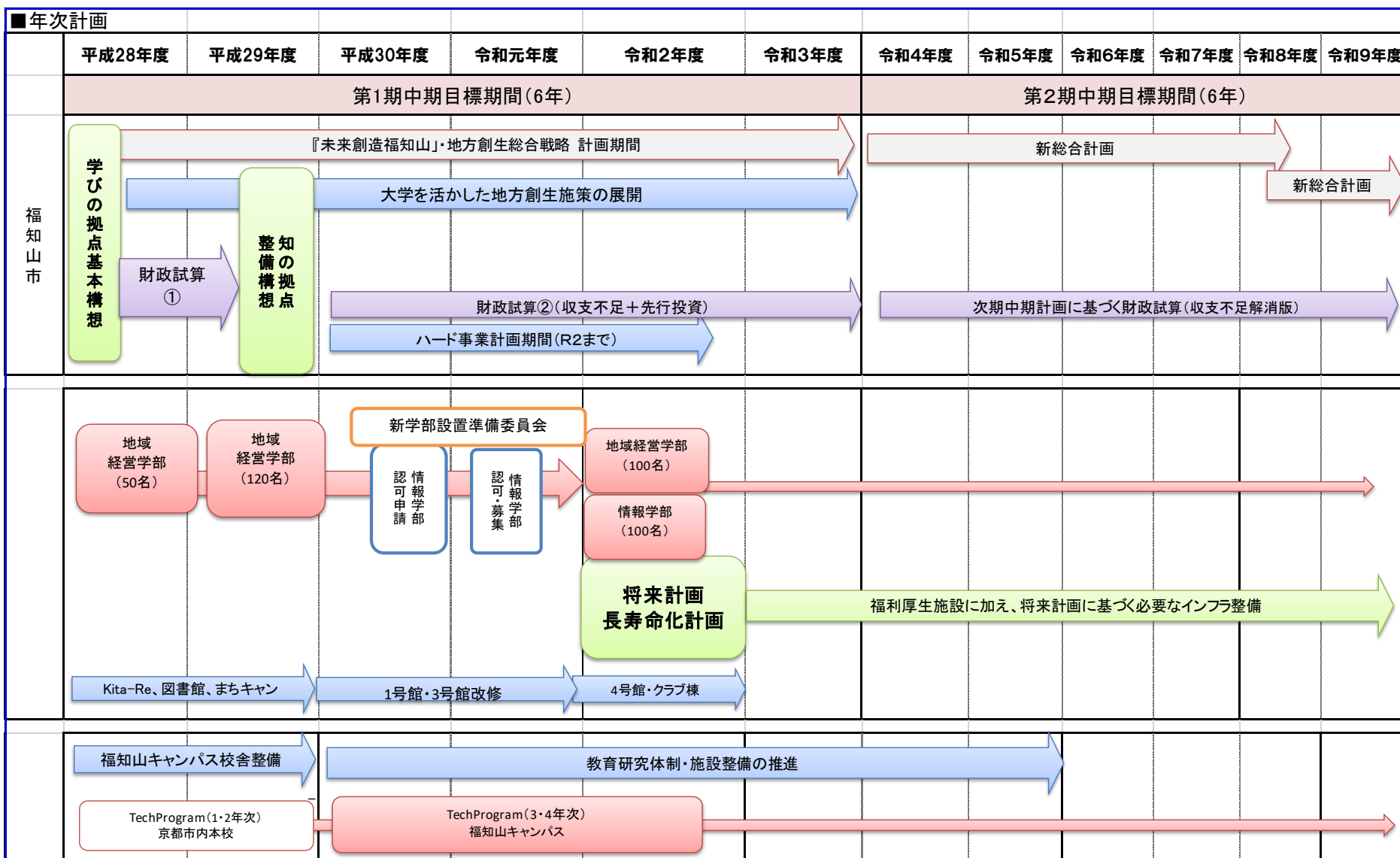
# 地方大学の目指す方向性について

- 地方大学は、地域のニーズに応えるという観点からも、知の拠点として地域ならではの人材を育成・定着させ、地域経済・社会を支える基盤となることが必要。
- 地域特性・ニーズを踏まえた人材育成やイノベーションの創出・社会実装に取り組む地方大学の機能強化、活性化が重要。

- 
- 地方大学は、地方公共団体、地域の産業界等と密に連携し、文理の枠にとらわれないSTEAM人材の育成や地元企業へのインターンシップ・リカレント教育の拡充
  - Society5.0社会の実現にとって不可欠な数理・データサイエンス・AI教育の推進やオンライン教育の活用により、地域において新たな産業や雇用を創出し、地方創生の中核となることを目指す。

(R2.9 文部科学省中央教育審議会「第156回大学分科会資料」から引用)

# 福知山公立大学 年次スケジュール



| 項目     |                    | 令和2年度              |                    |   |                                   |   |   |    |    |    |   |                                     |   | 令和3年度               |          |   |                    |   |   |    |    |    |   |          |   |  |           |  |  |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|---|-----------------------------------|---|---|----|----|----|---|-------------------------------------|---|---------------------|----------|---|--------------------|---|---|----|----|----|---|----------|---|--|-----------|--|--|
|        |                    | 4                  | 5                  | 6 | 7                                 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2                                   | 3 | 4                   | 5        | 6 | 7                  | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2        | 3 |  |           |  |  |
| 福知山市対応 |                    | 原案作成協力<br>庁内、議会と調整 |                    |   |                                   |   |   |    |    |    |   | R 3 予算編成/補助金獲得                      |   | 次期中期目標・中期計画<br>策定作業 |          |   |                    |   |   |    |    |    |   | 中期目標（議会） |   |  |           |  |  |
| 将来計画   | 学内委員会及び<br>学外有識者会議 | 学内委員会              |                    |   |                                   |   |   |    |    |    |   | 有識者、福知山市を交えた<br>検討委員会（公開）<br>3回程度開催 |   | 骨子確定                | 将来計画策定   |   |                    |   |   |    |    |    |   |          |   |  | 中期計画（理事会） |  |  |
|        | 長寿命化計画             | コンサル<br>契約         | 4号館<br>福祉棟<br>計画完成 |   | 2号館ほか全施設の利活用と長寿命化の計画<br>（将来計画と連動） |   |   |    |    |    |   |                                     |   |                     | 長寿命化計画策定 |   |                    |   |   |    |    |    |   |          |   |  |           |  |  |
|        | 4号館/福祉棟工事          | 契約                 | 設計                 |   | 工事                                |   |   |    |    |    |   |                                     |   |                     |          |   | 将来計画に基づく新たなキャンパス整備 |   |   |    |    |    |   |          |   |  |           |  |  |